

飯能・東松山・秩父(第3班)

飯能市(旧飯能市・旧名栗村)における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1730 (享保 15 年)	大風雨	大風により矢嵐村の田方に被害出る(中村家文書)	無
1734 (享保 19 年)	大風雨	子ノ権現の境内欠崩れる(子ノ権現記録)	無
1742 (寛保 2 年 8 月)	台風	南川村久通(町田家文書) 死者 34 人、流失家屋 25 軒、潰れた家 32 軒 大破家屋 12 軒、仏堂 3 棟流失、阿弥陀堂潰れる 諏訪神社の本殿、拝殿が流失し古い記録は失われる 吾野村(吾野村子ノ権現記録: 埼玉叢書) 山崩発生。吾野村で死者 70 人、12~13 頭死亡 名栗村で 8 人死亡 矢嵐村(戊秋大風雨荒地田畑書上書: 中村家文書) 入間川の堤防が崩れ田畑に被害	無
1772 (明和 9 年 8 月)	関東大風雨	矢嵐村「砂入山崩引」あり(明治元年年貢割付帳)	無
1783 (天明 3 年)	大雨	矢嵐村入間川通りで度々満水、川欠(水害により農地として当分使用できない田畑)が出来る	無
1791 (寛政 3 年 9 月)	大雨	矢嵐村の入間川井堰川除け(堤防など、河川の氾濫防止施設)流失	無
1799 (寛政 11 年 8 月)	大雨	矢嵐村の入間川の御普請所(幕府や藩が施工した土木 工事。とくに堤川除・用水・道橋等の普請において、周辺村落が費用を出して行った工事を自普請というのに対し、領主側が費用を負担して行った工事)流失	無
1802 (享和 2 年 6 月)	大雨	矢嵐村の入間川御普請所流失	無
1822 (文政 5 年 5 月)	大雨	大水で矢嵐村の入間川自普請所流失	無
1822 (文政 5 年 6 月)	大雨	満水で矢嵐村の入間川の御普請所も残らず流失	無
1823 (文政 6 年 6 月)	降雨	入間川の川除けが破損	無
1830 (文政 13 年夏)	大雨	矢嵐など 3 ヶ村の川除け普請所が出水で流される	無
1831 (天保 2 年 7 月)	大雨	岩沢村の堰破損	無
1846 (弘化 3 年 7 月)	雨	雨天続き洪水、入間川が川止め	無
1848 (弘化 5 年 6 月)	大雨	大洪水	無
1849 (寛永 2 年 7 月)	雨	小瀬戸村で雨天大水	無

1849 (寛永 5 年 7 月)	大雨	大雨で入間川が大出水し水車など壊す	無
1855 (安政 2 年 6 月)	大雨	入間川が出水し小瀬戸で材木等多く押し流す	無
1856 (安政 3 年 8 月)	大雨	大雨が降り、名栗川筋が洪水地なり水車等が流失	無
1859 (安政 6 年 7～8 月)	大雨	<p>・7月～8月にかけて3度の洪水が発生。洪水により耕地に入った水が広いところで600間、入間川、成木川の用水堰、樋管、堤防、川除け等の護岸施設が軒並み流失・大破し矢嵐等4大字での被害は45町歩、22戸の家屋に及ぶ(明治26年1月に県へ土木技術師派遣依頼の文書:矢嵐村中村氏)</p> <p>・稀成洪水、谷々山崩押し出し、田畑押し荒し (7月12日古今稀成年代記:上名栗村平沼家)</p> <p>・朝大雨雷、大水稀也、所々山崩れくる、組ノ橋石橋沢ヨリ大水出、橋を越し大来大道へ水上がり、九ツ時より七ツ頃迄往来留り此辺往来、土・石橋共皆崩れる。組ノ橋石橋は無事に残る、此出水に人多死ス (未年日記:小瀬戸村須田精道著) 7月25日 道路欠損、がけ崩れで人家流失 8月12日 3度目の大水</p>	無
1860 (安政 7 年 7 月)	大雨	満水により入間川通り矢嵐村で亡所出る	無
1866 (慶応 2 年 8 月)	大雨	矢嵐村で川除けの一部流失、作物、被害出る	無
1868 (慶応 4 年 7 月)	大雨	材木、橋多数流失	無
1869 (明治 2 年)	大雨	この年夏から秋にまで雨降り続き5穀水腐れ	無
1870 (明治 3 年 9 月)	大雨	7月～9月にかけて大雨有り、北川村で神仏に祈願入間川えぼし岩付近浸水死者多数、落橋等被害出る	無
1874 (明治 7 年 5 月)	大雨	大雨出水により名栗村筏師が水死	無
1878 (明治 11 年 9 月)	大雨	稀成大水。中藤川で山津波により中藤中郷荒田地区5人溺死(須田家寅日記)。高麗川の井上村で家3軒、高橋流失(北川村大野家日記)	無
1884 (明治 17 年 9 月)	大雨	大雨、大風で高麗川、中藤川で死者が出る	無
1890 (明治 23 年 8 月)	大雨	入間川で堤防欠所2か所、橋梁毀損3か所、川除破壊19カ所、水門枠流失1カ所、堤塘欠所1カ所。成木川で橋梁毀損1カ所	無
1906 (明治 39 年 8 月)	大雨	矢嵐堰大破	無
1907 (明治 40 年 8 月)	大雨	用水堰大破	無
1919 (明治 43 年 8 月)	台風	入間川(名栗村)で穴沢地区(土石流)17人死亡、行方不明5人(8月14日付国民新聞)(名栗村「大水害記録」)	有 N03-1 N03-2

		高麗川（吾野村）で南地区（土砂崩壊）：死者・行方不明者 22 人（8 月 18 日付朝日新聞）（吾野村「水害関係書類」）	
1913 （大正 2 年 8 月）	大雨	大洪水により名栗村の橋梁全て流される	無
1934 （昭和 9 年 9 月）	室戸台風	死者 4 名	無
1947 （昭和 22 年 9 月）	カスリーン台風	武蔵野鉄道 6 日間不通、流失家屋 9 戸、全壊 1 戸、半壊 12 戸、床上浸水 145 戸、床下浸水 219 戸、田畑 165 反、堤塘 188 間、護岸 868 間、橋梁 6 か所等の被害	無
1958 （昭和 33 年 9 月）	狩野川台風	297mm の雨が降る	無
1959 （昭和 34 年 9 月）	伊勢湾台風	阿岩橋一部流失、阿寺諏訪神社、子ノ権現で被害	無
1964 （昭和 39 年 8 月）	集中豪雨	飯能市久通で死者 1 名	無
1965 （昭和 40 年 8 月）	台風	集中豪雨、台風 17、24 号により崖崩れ、浸水被害	無
1966 （昭和 41 年 6 月）	台風 4 号	土砂崩れで阿須地内社宅 3 世帯が埋没 5 名死亡	無
1983 （昭和 58 年 8 月）	台風 5 号	上直竹下分で地滑り発生	無
1989 （昭和 60 年 7 月）	集中豪雨	死者 2 名	無
1989 （平成元年 7 月）	長雨	飯能市南地内で地滑り発生	無
1999 （平成 11 年 8 月）	台風	土砂崩落による西武池袋線吾野駅損壊	有 N03-3

出典：飯能方面湖水のごとし（飯能市郷土館発行）・飯能市地域防災計画・飯能市防災アセスメント報告書

入間市における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無と NO
1910 （明治 43 年 8 月）	台風、低気圧前線	堤防決壊、道路の寸断、橋梁流出など市民生活に大きな影響を与えた。	無
1928 （昭和 3 年 8 月）	豪雨	豪雨の影響で元加治村、野田、仏子、水富村、笹井、柏原村等の橋は流失または決壊。水富村笹井地先の下流十余ヶ村水田用水取り入れ口の堰五十間、豊岡地先の豊水橋の一部は橋脚約 67 寸沈下し交通危険な状態になった。	無
1937 （昭和 12 年 7 月）	豪雨	笹井堰が決壊。	無
1947 （昭和 22 年 9 月）	カスリーン台風	入間川が増水し、水富村では笹井ダムが破壊、流出家屋、倒壊・半倒壊家屋、床上・床下浸水家屋多数の被害。	有 No.3-4
1977 （昭和 52 年 8 月）	台風 9 号	河川護岸損壊（入間川）	無
1982 （昭和 57 年 9 月）	台風 18 号	雨量：三峰 336mm、名栗 348mm、川越 338mm。入間川、新河岸川で大被害。新河岸川が激特事業に指定。	無

1999 (平成 11 年 8 月)	熱帯性低気 圧	河川被害、道路冠水多数、豊水橋の架け替え中の 仮設橋被害。	無
2016 (平成 28 年 8 月)	台風 9 号	不老川沿い床上浸水多数、霞川護岸決壊。	有 No.3-5

坂戸市 における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有 無と NO
1910 (明治 43 年 8 月)	大雨	明治 43 年の大洪水。県内被害破堤 945 箇所、死者・行方不明者 347 人。住宅の全半壊・破損・流出 18,147 戸、床上浸水 25,232 棟の一部（流出家屋あり）	無
1947 (昭和 22 年 9 月)	カスリーン台 風	浸水家屋多数、田畑の崩壊多数	無
1966 (昭和 41 年 9 月)	台風 26 号	浸水家屋多数、田畑の崩壊多数	無
1982 (昭和 57 年 9 月)	台風 18 号	越辺川、小畔川、入間川の三川合流部で、広範 な内水氾濫。浸水家屋多数、田畑の崩壊多数	有 N03-6

鶴ヶ島市 における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有 無と NO
昭和 49 年 ～	台風・集中豪雨 等	24 回災害発生 大谷川（都市下水路）等小河川沿いで床上浸水、床 下浸水、アンダーパスの冠水などの被害発生。	無

出典：鶴ヶ島市地域防災計画

日高市 における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有 無と NO
1910 (明治 43 年 8 月)	前線性豪雨及 び台風	流破家屋 12 戸（高麗村）、浸水家屋 40 戸（高 麗村）、50 戸（高麗川村）、5 戸（高萩村）、田畑の 冠水 22 町	無
1947 (昭和 22 年 9 月)	カスリーン台 風	浸水家屋 46 戸（高麗村）、15 戸（高麗川村）、5 戸（高萩村）、田畑の冠水 21 町、橋の流失 3 橋（鹿 台橋、天神橋、新井橋）	無
1966 (昭和 41 年 9 月)	台風 26 号	住家全壊 24 戸、半壊 154 戸、一部破損 349 戸、非 住家全壊 128 戸、半壊 121 戸、一部破損 320 戸、 土往路損壊 2 か所、がけ崩れ 4 ヲ所、橋流失 4 ヲ 所、農地埋没、水稻、畑作物、農業施設等被災	無
1982 (昭和 57 年 7 月)	台風 10 号	床下浸水 2 戸、田畑冠水 41 h a	無
1982 (昭和 57 年 12 月)	台風 18 号	床上浸水 11 戸、床下浸水 40 戸、橋の冠水 8 か所、 通行止め 3 か所	無
1985 (昭和 60 年 7 月)	豪雨	鉄砲水によりキャンプ中の男性 2 名死亡	無
1999 (平成 2 年 11 月)	台風 28 号	土砂崩れ 2 ヲ所（新堀、上鹿山地内） 通行止め 3 か所	無

毛呂山町 における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1742 (享保2年8月)	大雨	大洪水。越辺川・高麗川とも氾濫、田畑冠水地頭役所の検分有り	無
1750 (寛延3年4月)	大雨	田畑に甚大な被害、餓人百姓に貸付金・年貢割引き	無
1783 (天明3年6月)	大雨	浅間山不噴火と大雨により田畑不作。年貢3~7割引き	無
1819 (文政2年)	大雨	大洪水。越辺川決壊、国普請により復旧工事が行われる	無
1837 (天保8年8月)	暴風雨	田畑に甚大な被害出る	無
1859 (安政6年7月)	大雨	大洪水。氾濫により田畑に被害出る	無
明治期	大雨	大洪水。毎年台風の季節に多少の水害を受けない年は無く、明治23年8月の大洪水により田畑の流失・冠水、堰・橋梁破壊流失。明治27年8月・明治40年8月の大洪水では大きな被害を生じた。特に明治43年は最大の被害	無
1913 (大正2年8月)	大雨	越辺川の堤防凡そ30間決壊。	無
1946 (昭和21年5月)	降雹	約20分間の雷雨とともに降雹。特に箕輪田地区と西戸地区に大被害	無
1946 (昭和21年8月)	豪雨	県道岩井岩殿線の沢田と箕輪田地区間に架かる越辺川橋(越辺川)が流失。用水堰の破損・流失が各所で発生	無
1947 (昭和22年9月)	カスリーン台風	越辺川・高麗川をはじめ町内河川皆氾濫。久保堰、西戸堰、苦林堰等大破。改築直後の越辺川橋が半壊、林道被害も随所に起きた。	無
1948 (昭和23年9月)	アイオン台風	用水堰の破壊、水陸稲の倒伏、建物の破壊など起こった。	無
1949 (昭和24年8月)	キティ台風	毛呂本郷将監測をはじめ護岸・堰の損壊、水陸稲の倒伏	無
1950 (昭和25年9月)	ジェーン台風	前年同様の被害	無
1959 (昭和34年9月)	伊勢湾台風	臥竜山東南部杉檜の巨木120本倒伏。屋敷林、山林の被害発生、建物被害400戸	無
1961 (昭和36年6月)	豪雨	町内の主要用水堰ほとんど破壊。田畑冠水	無
1966 (昭和41年6月)	台風4号	集中豪雨、川越で328mm記録。主要用水堰ほとんど破壊。田畑冠水・埋没のため一部に水稻植え替田出る	無
1966 (昭和41年9月)	台風26号	暴風を正面に受けた山林・屋敷林の杉・檜399本が倒伏・折損。町内建物全壊・半壊・傾斜等825戸。水陸稲倒伏、その後のウンカ以上発生で水稻76町5反、陸稲11町8反被害受ける。当災害で災害救助法適用。	無
1982 (昭和57年9月)	台風18号	住家半壊4件	無

1987 (昭和 62 年 9 月)	大雨	床下浸水 23 件	無
1991 (平成 3 年 8 月)	台風 12 号	床上浸水 7 件、床下浸水 33 件	無
1999 (平成 11 年 8 月)	大雨	床上浸水 3 件、床下浸水 16 件、斜面崩壊 3 件	無
2002 (平成 14 年 7 月)	台風 6 号	床上浸水 3 件、床下浸水 1 件、道路一部決壊、ブロック転倒、急傾斜地崩壊 2 件	無
2008 (平成 20 年 6 月)	大雨	急傾斜地崩壊	無
2009 (平成 21 年 2 月)	大雨	急傾斜地崩壊	無

出典：毛呂山町地位防災計画・毛呂山町史

越生町 における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1910 (明治 43 年 8 月)	前線性豪雨及び台風	(旧越生地区)・・・町史 土砂崩落による全洞院(黒山)本堂の一部及び閻魔堂流出、その他、住家一棟・橋梁 2 橋流失、道路欠損、宅地・田畑冠水など大きな被害が出る。 (町史) (旧梅園地区)・・・越生の自然 宅地・田畑決壊流失 45 町 9 反、家屋流失 15 棟 同倒壊 28 棟、道路決壊 93 か所、7,700m、流失橋梁 37 か所、木材等多数流失、失木材は橋梁、水車の取水せき等に大きな被害を及ぼした。 梅園観測所で 8 月の降水量 1,030mm 記録 ※復旧工事に護岸用蛇かごに使用する真竹の需要が増大し越生特産の団扇製造が半減	有 N03-7
1914 (大正 3 年)	台風	(旧梅園地区) 宝勝院の境内地盤決壊により本堂及び庫裏倒壊 梅園観測所で降水量 156.4mm 記録	無
1946 (昭和 21 年 8 月)	集中豪雨	越辺川が氾濫。戦後復興用の貯木が流出、次々と橋を壊し、川をせき止めながら下流域の出水をもたらす。田畑冠水、家屋・橋梁多数流失 梅園観測所で降水量 261.1mm 記録(総雨量)	有 N03-8
1947 (昭和 22 年 9 月)	カスリーン台風	死者 1 名、家屋流失 2 棟、床上浸水 101 棟、床下浸水 458 棟、流失田畑 126 町、冠水田畑 643 町、橋梁流失 3 橋、道路崩壊 16 か所 梅園観測所で降水量 451.6mm 記録	有 N03-9
1971 (昭和 46 年 7 月)	地滑り	旧越生小学校(現中央公民館)西側の山で地滑りが発生。南側校舎が危険になり、1~6 年の生徒 672 人が避難	有 N03-10
1982 (昭和 57 年 9 月)	台風 18 号	床下浸水 17 戸、冠水畑地 130ha、橋梁被害 21 か所 がけ崩れ 11 ヲ所、砂防被害 2 か所	無
1999 (平成 11 年 8 月)	集中豪雨	床上浸水 2 戸、床下浸水 20 戸、浸水区域 0.15ha、土砂崩れ 26 ヲ所、路肩崩壊 8 か所、黒山地内で地滑りの危険性から住民が自主避難	有 N03-11

出典：越生町史、越生町史自然史編 越生の自然、越生町地域防災計画(平成 19 年 3 月発行)

東松山市における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1742 (寛保2年8月)	大雨	江戸第一の洪水と言われ長瀨には現在の荒川の河床から24mの高さに痕跡(岩壁にある「洪水位磨崖標」)があり、関東一円で冠水、荒川の増水60尺、堤防の決壊96箇所との記録が残されている。	無
1910 (明治43年8月)	大雨	二つの台風と低気圧の停滞による大風雨で荒川は未曾有の大出水となり埼玉全域(特に当時、比企、大里郡等)堤防決壊314箇所、死傷者401人、住宅の全半壊流出10,547戸等の被害が見られ明治最大の大洪水と言われた。東松山の高坂村、唐子村では、都幾川、越辺川にかけ14が所で破堤決壊し大氾濫となった。	有 N03-12
1913 (大正2年8月)	暴風雨(台風)	関東東岸を北上した台風の影響による被害が荒川流域でより甚大だった為に、当時未着手の荒川上流部の改修工事を要望(議会意見書提出、着工大正7年)この時の都幾川筋唐子村では堤防破堤2か所、住宅浸水58等の被害が「唐子村郷土誌」に記されている。	無
1947 (昭和22年9月)	カスリーン台風	停滞前線を台風がより刺激し、関東一円を暴風雨圏内に巻き込んで被害規模が拡大、秩父で総雨量611mm(日最大降水量519.7mm)を記録。荒川では熊谷市、鴻巣市で、利根川では栗橋で破堤し埼玉県内72%の市町村に被害が及んだ。埼玉県内の全壊・流失家屋1,121戸、床上浸水家屋44,855戸を記録。	有 N03-13
1966 (昭和41年9月)	台風26号	秩父地方を直撃したため山間部の崖崩れや倒木による被害等が多く、被災地は大里・人間・比企地域で住家全半壊家屋7,914、床上浸水740棟等の被害の発生があった。	無
1982 (昭和57年9月)	台風18号	本土を縦断した台風18号の総雨量三峰336mm、川越338mm(9月10~12日)であり、荒川上流域のほぼ平均して降った。越辺川、都幾川、市野川等流域において内水による氾濫が発生し埼玉県で唯一の犠牲者が発生した。家屋被害は全壊1世帯、床上浸水138世帯、床下207世帯であった。	無
1999 (平成11年8月)	集中豪雨	熱帯低気圧により発達した集中豪雨による内水氾濫で床上浸水23世帯、床下10世帯の被害が発生している。	無

滑川町における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
特に記録なし	大雨	洪水	無

嵐山町における水害・土砂災害年表(全て槻川)

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1959 (昭和34年9月)	伊勢湾台風	住家全壊3棟、半壊10棟、物置全壊30棟	無
1966 (昭和41年9月)	台風26号	死者1名、負傷者2名、住宅全壊15棟、半壊10棟、橋梁流失2か所	無
1982 (昭和57年8月)	台風10号	住家床上浸水12棟、床下浸水23棟、橋梁流失1か所	無
1982 (昭和57年9月)	台風18号	住家床上浸水19棟、床下浸水27棟	無
1986 (昭和61年8月)	台風10号	住家床下浸水1棟、橋梁流失1か所	無
1989 (平成元年8月)	大雨	将軍沢地内 前川堤防崩落	有 N03-14
1990 (平成2年9月)	台風20号	床下浸水3棟、道路冠水1か所道路法面崩壊8か所	無
1991 (平成3年8月)	台風12号	床下浸水5棟、水田冠水15ha、道路法面崩壊4か所、畦畔3か所、道路冠水4か所、山林崖崩れ1か所	無
1993 (平成5年8月)	台風11号	道路法面崩壊2か所	無
1998(平成10年) 8月27日～31日	豪雨	水路法面崩壊2か所、道路法面崩壊5か所	無
1998 (平成10年9月)	台風5号	山林崖崩2か所	無
1999 (平成11年8月)	熱帯低気圧	町道1-18号線(八幡橋)、町道鎌形135号線(班溪寺橋)橋脚部周辺流失	無
2002 (平成14年10月)	台風21号	道路法面崩壊2か所	無
2003 (平成15年8月)	台風10号	排水路損壊1か所、山林崖崩れ1か所	無
2007 (平成19年9月)	台風9号	水路土羽面崩壊1か所、道路路肩崩壊1か所、道路照明灯倒壊1か所、倒木4か所	無
2011 (平成23年7月)	台風6号	道路路肩崩壊1か所、道路法面崩壊1か所	無
2012 (平成24年6月)	台風4号	倒木4か所	無

小川町における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1672～1677 (寛文12年)～(延宝5年)	大雨	連続6年間 槻川・青山村にて毎年全て水害発生	無
1690 (元禄3年)	大雨	槻川・青山村にて水害、山崩れ発生	無
1696 (元禄9年)	大雨	槻川・腰越村にて3回の洪水発生	無
704、1711、1728 (宝永元年)、(正徳元年)、(享保13年)	大雨	槻川・上田地区にて水害発生	無

1947 (昭和 22 年 9 月)	カスリーン台風	流失家屋 3 棟、浸水家屋 1,700 棟余り、 豚舎 1 棟豚 2 頭、牛舎 1 棟牛 1 頭流失。 農地埋没 3 町歩 根古屋線 (小川町駅から腰越区間 3 k m ?) 槻川駅流失、復旧無し	有 N03 -15
-----------------------	---------	--	--------------

川島町における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無と NO
1671 (寛文 11 年 7 月)	大雨	越辺川・都幾川・荒川・入間川が氾濫し、中山村地内 3 箇所、長楽村、鳥羽井村、出丸中郷村地内数箇所堤防が決壊・破堤する	無
1742 (寛保 2 年 8 月)	大雨	荒川・入間川・越辺川・市野川が氾濫し、松永、加胡、谷中、出丸下郷、出丸中郷、釘無、上伊草、上下小見野、吹塚で 10 箇所堤防が決壊・破堤する。出丸中郷の尚池沼と釘無の池の記述あり。	無
1780 (安永 9 年 6 月)	大雨	荒川・入間川が氾濫し、鳥羽井村破堤 70 間 (概ね 127m)、出丸下郷村破堤 40 間 (概ね 73m)、釘無村地内破堤 40 間 (概ね 73m) で堤防が決壊・破堤する。鳥羽井の鳥羽井沼 (前沼) として残る。	有 N03-16
1781 (天明元年 6 月)	大雨	荒川・入間川が氾濫し、鳥羽井村 80 間 (概ね 145m)、出丸中郷村 30 間 (概ね 55m) で堤防が決壊・破堤する。鳥羽井は安永の破堤箇所と同じ。鳥羽井の鳥羽井沼 (前沼) として残る。	有 N03-16
1782 (天明 2 年 7 月)	大雨	荒川が氾濫し、鳥羽井村 70 間 (概ね 127m) で堤防が決壊・破堤する。鳥羽井は安永の破堤箇所と同じ。鳥羽井の鳥羽井沼 (前沼) として残る。	有 N03-16
1783 (天明 3 年 7 月)	浅間山大噴火	荒川が氾濫し、鳥羽井村 85 間 (概ね 155m) で堤防が決壊・破堤する。鳥羽井は安永の破堤箇所と同じ。鳥羽井の鳥羽井沼 (前沼) として残る。	有 N03-16
1791 (寛政 3 年 9 月)	大雨	荒川が氾濫し、松永村 60 間 (概ね 109m) で堤防が決壊・破堤する。松永村の松永沼は現在水田。	無
1802 (享和 2 年 9 月)	大雨	荒川が氾濫し、鳥羽井村 80 間 (概ね 145m) で堤防が決壊・破堤する。鳥羽井の鳥羽井沼 (中沼)・九頭龍神社 (九頭龍大権現・一目連大明神) が残る。	有 N03-17
1811 (文化 8 年 8 月)	大雨	荒川が氾濫し、出丸中郷地内字五六橋で樋管が崩壊する。	無
1823 (文政 6 年 6 月)	大雨	入間川・荒川が氾濫し、出丸中郷地内高木塚、西谷村地内寺田塚、曲師村地内塚及び、鳥羽井村地内 60 間 (概ね 109m) で堤防が決壊・破堤する。鳥羽井は享和の破堤箇所と同じ。鳥羽井の鳥羽井沼 (中沼)・九頭龍神社 (九頭龍大権現・一目連大明神) が残る。	有 N03-17
1824 (文政 7 年 7 月)	大雨	荒川・市野川・入間川が氾濫し、鳥羽井村地内、北園部村地内、出丸中郷地内、曲師村地内、出丸中郷地内高木塚、西谷村寺田塚で堤防が決壊・破堤する。鳥羽井の鳥羽井沼 (中沼)・九頭龍神社 (九頭龍大権現・一目連大明神) が残る。	有 N03-17

1840 (天保 11 年 6 月)	大雨	荒川・入間川が氾濫し、松永村地内と出丸中郷地内等で 140 間 (概ね 255m) 堤防が決壊・破堤する。松永は寛政と出丸中郷は寛保の破堤箇所と同じ。床上浸水 1400 戸 床下浸水 300 戸	無
1845 (弘化 2 年 7 月)	大雨	荒川・入間川・都幾川・市野川が氾濫し、谷中村地内、出丸中郷五六橋、出丸中郷地内、長楽村地内、北園部村地内、出丸中郷字横塚塚等で 208 間 (概ね 378m) 堤防が決壊・破堤する。谷中と出丸中郷は寛保 2 年と北園部は文政 7 年の破堤箇所と同じ。床上浸水 1600 戸 谷中沼の記述あり	無
1859 (安政 6 年 7 月)	大雨	入間川・市野川が氾濫し、出丸中郷地内、曲師村地内、戸守村地内等で 63 間 (115m) 堤防が決壊・破堤する。床上浸水 480 戸	無
1868 (明治元年 6 月)	大雨	荒川が氾濫し、市野川の洪水で戸守村地内 10 間 (概ね 18m)、入間川の洪水で出丸下郷地内 35 間 (概ね 64m) で堤防が決壊・破堤する。床上浸水 500 戸 床下浸水 115 戸	無
1875 (明治 8 年 7 月)	大雨	荒川が氾濫し、出丸下郷五六橋樋管崩壊し、8 間 (概ね 15m) 堤防が決壊・破堤する。床上浸水 130 戸 床下浸水 400 戸。	無
1878 (明治 11 年 9 月)	大雨	荒川が氾濫し、市野川の洪水で戸守村地内 8 間 (概ね 15m) 堤防が決壊・破堤する。民家の流失 1 戸、床上浸水 120 戸 床下浸水 500 戸	無
1884 (明治 17 年 9 月)	大雨	入間川が氾濫し、都幾川の洪水で長楽村地内 20 間 (概ね 36m) 堤防が決壊・破堤する。床上浸水 417 戸 床下浸水 570 戸。	無
1885 (明治 18 年 7 月)	大雨	入間川が氾濫し、越辺川の洪水で吹塚村地内 38 間 (概ね 69m) 堤防が決壊・破堤する。床上浸水 511 戸 床下浸水 674 戸	無
1886 (明治 19 年)	大雨	入間川が氾濫し、越辺川の洪水により中山村で 2 箇所 47 間 (概ね 85m) 堤防が決壊・破堤する。	無
1890 (明治 23 年 8 月)	大雨	長楽村、伊草村、下小見野村、出丸村で浸水 13 戸余り。死者 3 名	無
1892 (明治 25 年 5 月)	大雨	入間川が氾濫し、小見野村、八ツ保村、三保谷村で浸水被害	無
1898 (明治 31 年 9 月)	大雨	中山村、伊草村、三保谷村、出丸村、八ツ保村、小見野村で浸水被害。浸水家屋 130 戸、田畑冠水 69 町 (概ね 68.4ha)	無
1907 (明治 40 年 8 月)	大雨	荒川・市野川が氾濫し、小見野村鳥羽井で 50 間 (概ね 91m)、中山村で 2 箇所 50 間 (概ね 91m) の堤防が決壊・破堤する。川島領内六か村は全く一大湖水と化した。鳥羽井沼 (新沼) として残る。	有 N03-18
1910 (明治 43 年 8 月)	大雨	荒川・入間川・越辺川・市野川が氾濫し、周囲の堤防が総越水堤防の決壊・破堤箇所は 48 か所に及ぶ川島領全域が泥海と化す。家屋被害 2594 戸 田畑冠水 3338 町 (概ね 3310ha)	無
1913 (大正 2 年 8 月)	大雨	中山村山王地内 2 箇所 50 間 (概ね 91m)、中山村長楽堤 50 間 (概ね 91m) で堤防が決壊・破堤する。	無

1947 (昭和 22 年 9 月)	カスリーン台風	荒川・入間川・越辺川・市野川が氾濫し、釘無 40m 曲師 40m 堤防が決壊・破堤する。中山村、伊草村、三保谷村、出丸村、八ツ保村、小見野村で浸水被害。床上浸水 277 戸 床下浸水 554 戸、田畑冠水 78 町 (概ね 77.4ha)	無
1949 (昭和 24 年 8 月)	キティ台風	出丸村、八ツ保村、小見野村で桑畑等の農業被害	無
1953 (昭和 28 年 9 月)	台風 13 号	中山村で浸水被害 2 戸	無
1959 (昭和 34 年 9 月)	台風 15 号伊勢湾台風	風台風 全半壊家屋 59 戸 屋根を飛ばされた家 347 棟 荒川堤外地は、一面ドロ海となり水稲・陸稲が 200ha 冠水し全滅した。	無
1966 (昭和 41 年 6 月)	台風 4 号	川島村内に浸水被害 191 戸 田畑冠水 2800ha	無
1966 (昭和 41 年 9 月)	台風 26 号	風による家屋破壊 1755 戸 死傷者 14 人 田畑冠水 1847ha	無
1979 (昭和 54 年 10 月)	台風 20 号	風による人的被害軽傷 1 名 住宅等建物被害 234 棟、田畑冠水 85ha	無
1982 (昭和 57 年 8 月)	台風 10 号	風による住宅被害 27 棟 田畑冠水 259ha	無
1982 (昭和 57 年 9 月)	台風 18 号	荒川・入間川・越辺川・市野川が氾濫し、堤防の被害が多数の箇所が発生。床上浸水 1 棟 床下浸水 110 棟 田畑冠水 260ha 人的被害軽傷 1 名、住宅被害 94 棟	無
1987 (昭和 62 年 8 月)	集中豪雨	床下浸水 2 棟	無
1998 (平成 10 年 8 月)	集中豪雨	市野川の増水により河岸等が崩壊する。床下浸水 3 棟 田畑冠水 51ha	無
1999 (平成 11 年 8 月)	集中豪雨	新江川が増水し、友田橋付近の堤防から越水する。床下浸水 4 棟 田畑冠水 476ha	無

参考文献：川島郷土史、川島町地域防災計画、川島町史（通史下巻）等

吉見町における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無と NO
1721 (享保 6 年)	大雨	吉見領の大洪水 横手堤押切 横見郡村々水大損毛 本田新田方皆損取米なし水損引田畑 17 町 5 反 (概ね 17.4ha) 久保田新田で水損引 7 町 (概ね 6.9ha)	無
1731 (享保 16 年)	大雨	4 月から繰り返し出水。8 月洪水で横手堤決潰し本田田畑秋作皆損。久保田本田で麦作水損畑 15 反 (概ね 1.5ha) 秋作水損畑 2 町 (概ね 2ha) 久保田新田で砂入付荒 2 町 3 反 (概ね 2.3ha) 皆損砂入畑 1 町 3 反 (概ね 1.3ha)	無
1742 (寛保 2 年 8 月)	大風雨	寛保 2 年の大水害 荒川・市野川が大出水 久保田村では堤切所 6 箇所、欠所 3 箇所久保田村領内が湖水のようになる。荒川で 11 箇所破堤 (中曾根・上砂・一ツ木・今泉・北下砂・蚊斗谷・荒子・地頭方) 流家 25 戸、死者 165 人、死んだ馬 191 頭 (馬の供養塔) 今泉金剛寺前に馬の供養塔が残る。久保田本田で皆損田 14 町 5 反 (概ね	有 N03-19

		14.4ha) 畑6町4反(概ね6.3ha) 久保田新田で水損引6町5反(概ね6.4ha)	
1757 (宝暦7年5月)	大雨	度重なる出水で中曽根・上砂・一ツ木・古名・地頭方村で破堤97間(概ね176m)、浸水85棟	無
1766 (明和3年)	大風雨	6月江綱堰押抜。 7月荒川・市野川出水し横手堰押抜 横手堰樋抜け、堤内外大出水し和田吉野堤上押切、大圀堤通り江綱村新堤で総越。中曽根、一ツ木、大和田、荒子、地頭方村で破堤130間(概ね236m)、浸水家屋1600軒、流失家屋8軒。久保田本田で皆損27町2反(概ね27ha) 久保田新田で砂入引7反水損引(概ね0.7ha)	無
1767 (明和4年)	大風雨	5月横手堤決潰 荒川・市野川逆水破堤・押削5箇所。7・8月にも出水あり。 久保田本田で皆損25町5反(概ね25.3ha) 久保田新田で砂入引2町1反水損引(概ね2.1ha)	無
1780 (安永9年)	大雨	6月数日の大雨のため大串高堰破壊、荒川・市野川の出水。大出水で大串村地内悪水吐樋破壊、本・新田畑水冠し浸水家屋多数潰れ家もできる。 久保田本田で水腐田11町3反(概ね11.2ha) 久保田新田で水損用捨	無
1781 (天明1年7月)	大風雨	荒川・市野川大出水により大圀堤・畑圀堤越水し切所できる。 大里郡津田新田と流川大留井で破堤	無
1782 (天明2年9月)	大雨	横手堤決潰し出水 久保田本田で深被り49町9反(概ね49.5ha)	無
1783 (天明3年6月)	大雨	浅間山大噴火 横手堤押切7箇所108間(概ね196m) 総圀堤数箇所越水 大串堰樋押抜	無
1786 (天明6年7月)	大風雨	玉作堰上破堤、横手堤越水・破堤30間(概ね55m)。 堰上で中切15間(27m)、田畑水冠。 新田は、流失家5軒、浸水1900軒。中曽根、一ツ木、荒子、地頭方、北下砂、荒子村で163間(概ね296m)破堤。久保田本田で水腐れ引田10町1反(概ね10ha)。久保田新田で水損用捨	無
1791 (寛政3年8月)	大雨	荒川・市野川出水により大里郡岡村11箇所破堤、小泉・諏訪破堤、玉作破堤、横手堤破堤、荒子堰樋破壊、江綱西堤堰樋破壊、田畑水冠。小八ツ林村17軒・寺・堂等流失。上砂、一ツ木、今泉、北下砂、丸貫村146間(概ね265m)破堤 浸水家屋1300軒(川島領含)、久保田本田で水損用捨 久保田新田で水腐れ9町4反(概ね9.3ha)	無
1792 (寛政4年7月)	大風雨	横手堤破堤、大工町堤下大水で田畑共水冠、前河内村・久保田村田畑皆損	無
1793 (寛政5年7月)	大風雨	大里郡手島村1か所、小泉村2箇所、津田新田2箇所、玉作二重堤6箇所で破堤。横手提破堤、大串高堰樋破壊。上砂村破堤、荒子村堰樋破壊する。 久保田本田で皆損畑6町4反(概ね6.3ha) 久保田新田で皆損9町4反(概ね9.3ha)	無
1799 (寛政11年)	大雨	4月本田低場・新田地水くさり。 8月新田地一面出水本田も地水湛水。市野川満水で久保田村地内大圀堤越水し田畑水被る。	無

1802 (享和2年7月)	大風雨	大里郡手島村、津田新田40間(概ね73m)破堤、相上村5箇所、玉作村で破堤し、横手堤数箇所破堤、高尾新田で破堤、中曽根村、一ツ木村、地頭方村、北下砂村、大和田村、荒子村などで251間(概ね456m)破堤、流失家屋10軒。 久保田本田で皆損畑6町4反(概ね6.3ha) 久保田新田で皆損9町4反(概ね9.3ha)	無
1803 (享和3年8月)	大風雨	荒川より和田吉野川へ逆水し、相上村20間(概ね36m)破堤、横手堤越水し4箇所破堤	無
1822 (文政5年)	大雨	5・8月の出水で堰2箇所破壊、畑圃30間(概ね55m)破堤、中曽根村で破堤 久保田本田で皆損田26町(概ね25.8ha)	無
1823 (文政6年6月)	大雨	出水 中曽根村で破堤 久保田本田で水腐れ田9町9反(概ね9.8ha)、畑3町1反(概ね3.1ha)	無
1824 (文政7年)	大雨	7・8月に出水 潰れ家1戸、木小屋等6戸 流れ死馬2頭 家財家具等の流失 久保田本田で田方5分以上の損毛	無
1825(文政11年7月)	大雨	出水 地頭方村畑圃堤破堤38間(概ね69m)、皆損48町1反(概ね47.7ha) 久保田本田で皆損12町2反(概ね12.1ha)	無
1829 (文政12年8月)	大雨	荒川・市野川出水、大囲堤破堤、潰れ家2棟等 久保田新田で水腐れ引4町7反(概ね4.7ha)	無
1831 (天保2年7月)	大風雨	荒川・市野川大出水 1軒半潰し家具家財等流失 久保田本田で水損田8町9反(概ね8.8ha)	無
1835 (天保6年6月)	大風雨	荒川満水 高尾新田畑圃堤数箇所破堤、久保田新田で皆損9町9反(概ね9.8ha)	無
1846 (弘化3年6月)	大風雨	荒子村破堤50間(概ね91m) 樋管流出、浸水家屋529軒、久保田本田で皆無引田6町6反(概ね6.5ha)	無
1852 (嘉永5年7月)	大風雨	横手堤数箇所破堤、田畑立毛水損水腐れ34町8反(概ね34.5ha)、久保田本田で水腐れ8町5反(概ね8.4ha)	無
1858 (安政5年7月)	大風雨	前河内村地内の悪水塚樋破壊、大里郡手島村堤数百間破堤し、大里郡二重堤数箇所破堤、横手堤破堤。久保田村家2階屋根中突まで水押し大破し、半潰10軒、全潰2軒など損壊家屋多数。 久保田本田で皆水腐れ田14町5反(概ね14.4ha)畑6町3反(概ね6.2ha)久保田新田で皆水腐れ6町3反(概ね6.2ha)	無
1859 (安政6年7月)	大風雨	大里郡手島村地内で破堤、玉作二重堤破堤し、横手堤より領内に出水し大囲堤数箇所破堤。久保田本田で皆水腐れ田14町5反(概ね14.4ha)畑6町3反(概ね6.2ha)久保田新田で5分以上の損毛	無
1866 (慶応2年)	大雨	荒子村破堤45間(概ね82m)、樋管流失、浸水家屋840戸	無
1868 (慶応4年8月)	大風雨	7月には、5月からの度重なる出水で大囲堤数箇所破堤し大出水。8月再出水で田畑皆水腐れ。 久保田本田で皆水腐れ8町8反(概ね8.7ha)皆損5町1反(概ね5.1ha)	無

1890 (明治 23 年 8 月)	暴風雨洪水	大里郡吉見村玉作で破堤し、和田吉野川の堤防を破壊。流水は、横見郡東吉見村荒子地先で荒川堤防を決潰し横見郡内（吉見町）に氾濫する。	無
1906 (明治 39 年 7・8 月)	台風	比企郡で堤防破損 2 箇所、東吉見村で住家 2 戸と物置 1 戸流失。	無
1907 (明治 40 年)	洪水	久下地内で荒川破堤し、吉見全村が浸水。	無
1910 (明治 43 年 8 月)	大雨	荒川堤防が大里郡吉見村玉作で破堤 45 間（概ね 82m）し、洪水が横見郡（吉見町）一帯を襲う。市野川流域で死者 42 人、負傷者 24 人、水死家畜 46 頭（水死馬の供養塔馬頭観音が荒子善長寺・地頭方法永寺墓地にある記述あり）浸水耕地 8382 町（概ね 8313ha）、流失家屋 226 戸、倒壊破損家屋 4617 戸、浸水家屋 5474 戸	有 N03-20
1913 (大正 2 年 8 月)	台風	吉見地内 5 か所で堤防決壊。上砂では、大囲堤 2 箇所 270m が決壊し、死者 1 名、流失家屋 2 戸、潰れ家 1 戸。	無
1914 (大正 3 年 8 月)	台風	荒川は、蚊斗谷、飯島新田の堤防が決潰。市野川浸水耕地 2587 町（概ね 2566ha）、浸水家屋 1600 戸	無
1928 (昭和 3 年 10 月)	大雨	8 月市野川洪水で大串の門樋が押抜け逆さ水となる。10 月市野川の氾濫で吉見領 4 か村で田畑 1339 町（概ね 1328ha）浸水し農作物全滅。	無
1938 (昭和 13 年 8・9 月)	台風	荒川は、大里郡市田村地内 8 箇所、小泉、津田新田、津田 6 箇所の計 16 箇所破堤。和田吉野川は、相上、玉作の計 7 箇所で破堤。死者は大里で 37 名、吉見で 1 名。吉見全域（丘陵地以外）で床上浸水 2500 棟、農作物全滅 吉見堤内最後の出水。	無
1947 (昭和 22 年 9 月)	カスリーン台風	堤外地に大水。荒川の堤防は、久下、糠田付近で切れるも吉見側は破堤なし	無
1966 (昭和 41 年 9 月)	台風 26 号	全壊家屋 28 棟、半壊家屋 56 棟、物置・作業所等 170 棟の被害	無
1982 (昭和 57 年 9 月)	台風 18 号	全壊家屋 1 棟、床上浸水 15 棟、床下浸水 33 棟、がけ崩れ 12 箇所、田畑の冠水面積 265ha、避難人員 65 名	無

参考文献：近世における荒川中流域の水害と治水、吉見町史、荒川総合調査報告書等

鳩山町 における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1910 (明治 43 年 8 月)	大雨	明治 43 年の大洪水。県内被害破堤 945 箇所、死者・行方不明者 347 人住宅の全半壊・破損・流出 18,147 戸、床上浸水 25,232 棟の一部（流出家屋あり）	有 No.3-21
1947 (昭和 22 年 9 月)	カスリーン台風	浸水家屋多数、田畑の崩壊多数	無
1966 (昭和 41 年 9 月)	台風 26 号	浸水家屋多数、田畑の崩壊多数	無

ときがわ町（旧都幾川村・旧玉川村）における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1910 (明治43年8月)	大雨	明治43年の大洪水。県内全域では、山地崩壊2,870箇所、死者・行方不明者347人。その一部	有 No.3-22

東秩父村における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1974 (昭和49年9月)	台風16号	台風16号の降雨により槻川の安戸地先の左岸護岸が延長30mにわたり崩壊し、安戸郵便局の隣の土蔵が流出した	有 N03-23

秩父市（旧秩父市・旧吉田町・旧荒川村・旧大滝村）における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1859 (安政6年7月)	大雨	荒川の本・支流・小沢まで大荒れとなった。大宮郷日野田では、押堀川で水死者を出し、竹の鼻では水車一軒、船頭小屋一軒が流失	無
1907 (明治40年8月)	台風	7日間にわたる雨量は秩父で923mm、秩父郡中川・大田・野上において人家が流失、秩父では、死者11名、負傷者9名、行方不明者29名、家屋流失22戸、橋梁流失41橋	無
1910 (明治43年8月)	暴風雨	上吉田から小鹿野へ通ずる橋が落ちた。上吉田第2小学校の運動場決潰5坪、門柱1本、石垣、塀等損傷した	無
1914 (大正3年8月)	豪雨	豪雨のため吉田の新志35間、横田倉10間、布里から赤柴への里道120間、阿熊地内の橋梁8の内7ヶ所流出	無
1917年 (大正6年9月)	台風	野上雨量374mm、秩父で、死者2名、行方不明者1名、家屋全壊5戸橋流失32橋、道路埋没流失27	無
1938 (昭和13年8月)	台風	大滝で492mm、荒川親鼻水位10.6m、秩父警察署管内死者24名、負傷者6名、家屋全壊19戸、半壊21戸、流失59戸	無
1947年 (昭和22年9月)	カスリーン台風	秩父日雨量520mm(15日)時間雨量78mm(15日)、荒川親鼻水位10.6m、死者8名、負傷者12名、家屋全壊15戸、半壊46戸、流失46戸、旧吉田町では阿熊川の氾濫で神橋、中橋を洗って仲町に浸水し道路の欠壊は十数か所、大通りも股を没する浸水、やがて下町も浸水して罹災者54名が出た	無

横瀬町における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1742 (寛保2年8月)	大雨	横瀬川、生川はじめ各谷々に濁流が溢れ、川欠け、山崩れ、道路決壊、橋の流失、小者の家の風倒流失埋没は数知れず。	無
1947 (昭和22年9月)	カスリーン台風	町内主要道路の橋梁は語歌橋1つを残しすべて流出した。芦ヶ久保地内の横石沢で土石流が発生し付近の7戸が流出し、7名が犠牲となった。	有 N03-24

1966 (昭和 41 年 9 月)	台風 26 号	最大瞬間風速 36.2m/s を記録した。住宅の全壊 20 戸、半壊 83 戸、床下浸水 20 戸の被害が発生した。救助法が適用された。	無
1982 (昭和 57 年 8 月)	台風 10 号	最大瞬間風速 31.2m/s を観測し総雨量は 324.5mm に達した。強風と大雨により住宅は一部損壊 17 戸、床上浸水 9 戸、床下浸水 9 戸、さらに公共土木施設や農林産物の被害大であった。	無
2001 (平成 13 年 9 月)	台風 15 号	総雨量は 600mm に達し、横瀬川の増水により和田地区の堤防が溢水しそうになったため 20 世帯 60 名に対し避難勧告を発令したが、小康状態となり解除となる。	無

皆野町における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無と NO
1859 (安政 6 年 7 月)	大風雨	荒川上流の旧秩父郡大滝村の三峯と大久保組で家ごと押流されて 10 名、秩父で 1 名の死者が出ている。荒川の長瀬の岩畳のある付近で狭窄部になっていて、右岸の皆野町下田野の住宅石垣の根石に水位を刻んだ碑が残っている。	有 N03-25

長瀬町における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無と NO
1742 (寛保 2 年 8 月)	大雨	長瀬第二小学校の裏の岩肌に「水」という大きな文字が刻まれている。水位は約 60 尺 (18m) に達し、現在の国道 140 号線の路面より +3.65m となる。大きな被害を出した野上下郷では流出家屋 10 軒とある。この時に荒川岸の岩の上に建っていた滝野神社も流出した。	有 N03-26
1859 (安政 6 年 8 月)	大暴風雨	22 日から 23 日にかけて大暴風雨で、大災害となる。荒川は 120 年来このかたの大洪水であった。	無
1907 (明治 40 年 8 月)	集中豪雨	上陸はしなかったが、2 つの台風の影響により集中豪雨となった。荒川が大洪水となり当時の野上村では民家の流出が相次ぎ大災害となった。	無
1910 (明治 43 年 8 月)	前線による長雨と台風	8 月 1 日～16 日の降雨量は 1,021mm で 1 回の最高雨量は 8 月 10 日で 414mm を記録した。寛保に次ぐ大洪水であった。10 日の夜半に井戸地区の岩根神社近くの住宅に突然山津波が押し寄せ一家 7 名が土砂に埋もれ、遺体が見つかったのは 2 名のみ。当時の樋口村字滝之上では流出家屋 7 軒、浸水 17 軒の被害があった。	無
1947 (昭和 22 年 9 月)	カスリーン台風	14、15 日で 611 mm の雨量となる。樋口滝之上地区、井戸肥土地区で民家に被害が生じ、明治 43 年に次ぐ災害であった。	無
1957 (昭和 32 年 6 月)	台風 5 号	矢那瀬上波久礼で線路上に土砂が崩れ落ちて一時不通となった。	無
1971 (昭和 46 年 8 月)	台風 23 号	荒川は大水となり、井戸地区法善寺の裏の洞の入りでは山崩れが発生し、20a 程の損害があった。	無
1974 (昭和 49 年 9 月)	台風 16 号	300mm の大雨が降り、大字井戸地区にある金石キャンプ場のバンガロー数棟が流出し、別荘 1 棟が半壊した。	無

小鹿野町（旧小鹿野町・旧両神村）における水害・土砂災害年表

発生年月日	台風名称等	被害状況	痕跡等の有無とNO
1907 （明治40年8月）	長雨、暴風雨	町史には長雨、暴風雨の旧三田川村の被害 死者4名、行先不明2名、流出埋没家屋5戸 倒潰家屋2戸、同旧小鹿野町1戸	有 N03-27
1910 （明治43年8月）	大豪雨	この雨により郷社小鹿神社地すべりにより春日 町より腰之根地内へ遷座	無
1999 （平成11年8月）	大雨	記録的〈448mm〉な大雨で河川の増水、氾濫、山 崩れ、崖崩れ等の土砂災害、負傷者1名、床上浸 水3戸、床下浸水41戸、道路決壊40ヶ所、橋梁 被害5橋、崖崩れ77ヶ所	無